

議会報告会実施報告書（要旨）

開催日時	平成27年11月13日（金） 18時30分～20時15分		
開催場所	西当別コミュニティセンター	出席者	30名
出席議員	岡野議運委員長・高谷議員・古谷議員・澁谷議員・五十嵐議員		

◎岡野議運委員長開会、挨拶

○（岡野議運委員長） 今回で議会報告会は6回目となるが、議会報告会を開催することとなったのは、平成23年の議員の改選後、町民の皆さんに、より開かれた議会にしたいとの思いから、議会改革に取り組んできた。1回目から5回目までは、町内会長や各団体をお願いをして議会報告会を行ってきた。5月から議員の構成が変わったので、8月は議員全員で議会報告会を行った。今回は、3グループに分かれて、当別の線路から南と北と西当別ということで分け、担当議員を決め、実施し、この会場は5人の議員が担当する。懇談について、議員は個人の意見を持っているが、今回は皆さんからの意見や希望に答えられるものは答えるが、その他については、議会としての対応ということで話をさせていただきたい。個人の議員が私見を述べることはしないことにしているので、よろしくお願ひしたい。

◎議員自己紹介

◎臨時会、定例会報告

古谷議員

- （町民） ふるさと納税に1億円の予算がついているが、いくら集まっているのか。
- （議会） 今年は約2億4千万円集まっている。10月だけで4,400万円。このままていくと予算額の4億円までいくと思われる。
- （町民） 4億のふるさと納税があつて、1億の支出があるということは、残りの3億は、当別町の収入か。
- （議会） 例えば、1万円の寄付だと5千円分の還元を皆さんにしている。なので4億円のうち2億円分は当別町から品物を送っている。2億円分の商品は当別町のものを使っており、当別町内で2億円が使われているということになる。

◎議会改革報告

高谷議員

- （町民） 各議員がipadのようなものを持ち、広く訴えたり、自らこういうことをやっている、など手軽に受発信ができるようになると親近感が湧いてくる。議会報

告会は年齢層が高いので、町民全体の報告会にならないのではないかと考えている。若い方の意見や思いを斟酌するには、IT機器を活用するといいいのではないかと考える。

○（議会） 議会改革の中で、会議のペーパーレスや、議会の情報を早期に町民の皆さんに理解してもらう方法などを提案する議員もいる。個人の議員が自分達の身の丈で、やっていける範囲で行いたいと思う。

○（町民） 議員は町民の意見を聞き、毎朝、議員全員が集まり、意見を共有してはどうか。

○（議会） 発信の方法については、議運を通じて、議会改革の中で取り組んでいるが、頂いた意見は協議し、進めて行きたい。

○（町民） 議会中継について、街では光回線が来ているが、農村部は光回線はまだ来ていないの早急な整備をお願いしたい。

○（議会） 当別地区や太美地区では、皆さんの要望で光回線が入ってきたので、町民の皆さんの要望が企業を動かすので、皆さんの意見はしっかりと伝える。

○（町民） IT機器を使えない年代に対する対応はどう考えているのか。

○（議会） そういった人たちには、こちらから議会報告会の開催、議会広報など、で対応しているが、これからも色々と考えていく。

○（町民） 午後6時半からの報告会は、遅いので、お年寄りの来れる、明るい時間に実施してほしい。

○（議会） 今後、もっと地域の中に入って、意見を聞きたいと思っているので、そういうことも視野に入れながら対応したい。

○（町民） 議員の答弁を聞くとやさしすぎる。早い時間であれば、若い人は仕事に行っているの、6時半でも早いくらいだ。もしIT機器が必要だとか、聞きたいとなれば、会館にテレビを置いて中継をすとか、何らかの手立てをすると、本当に必要な人はそこに見に来る。年寄りだからということでは何でもという意見には賛成できない。

○（議会） 鹿追町では、業種別、年齢別、老人クラブの大会、地区別、などに出かけて実施しているところもある。言われていることは、今後考えていきたい。

○（町民） 議会報告会の運営について、議会だよりを手元に置いて、開催するとよりわかりやすくなる。案内に、議会だよりを持参していただくようにするか、配布するか、検討していただきたい。

○（議会） 検討させていただきたい。

○（町民） 5Pの政務活動費の拡大とあるが、具体的に拡大とはどういうことか。

○（議会） ここに掲載されている事項は、議員がこれを検討してほしいことが載っており、決まったことが載っているわけではない。議会改選後、これから検討してもらいたい事項を述べてくださいといった中に、政務活動費の拡大があり、これから検討していく。月に1万円、年間12万円の範囲の中で支給される。当別町の政務活動費は、最初に支給されるわけではなく、立替払いをし、申請をして、認められた範囲

の中で支給されることになっている。現在、道外研修は実施していないので、政務活動費で、道外の色々な取り組みを行っている自治体を数回視察することが、今の政務活動費では少ないと考えたのかもしれない。これは誰が検討項目として出したかはわからないが、こういう要望があったということである。

○（議会） 政務活動費の拡大ということについて、早くから当別町議会では、手引きを作っており、文書費や後援会活動などに使えないことと規定している。政務調査費から政務活動費へと改正され、範囲が拡大されたが、当別町議会では以前から規定されているとおり、議員の個人の活動に関しては、公のお金は使わないこととなった。そういった中で文書費の拡大なども含まれているのかなと思っている。議員から出された希望であるのでまだ、検討はされていない。

○（町民） 政務活動費が年間12万円で何ができるのか。当別町を発展させるために、色々な所を見てほしい。厳しいときだからこそ拡充してもいいのではないか。

○（議会） 増額は検討していないが、意見として承る。

◎懇 談

○（町民） 公楽苑のデイサービスから16線の道路付近が、雨が降ると水が溜まる。機械で水を掃かそうとしたが、U字溝より道路が低いため、水が出ない。役場の建設課に連絡し、見に来てもらい、すぐなんとかかすとの事だったが、議員からも言ってほしい。

○（議会） 我々が予算を持っているわけではないが、産業厚生常任委員会が所管であるし、以前の太美の町でインターロッキングの要請があったときも議会として行った事もあったが、これから検討させていただきたい。

○（町民） 西当別連絡協議会も担当しているが、先ほど場所の指摘があったインフラなどの問題について、わたしどもに出てきたときには、すでに危機的な状態が出てくる。全町的に、道路、歩道、防犯灯、街路樹などといった所が非常に破綻をきたしている。遊具も劣化している。町がやることといえば、ただちに撤去してしまう。撤去した補償はない。この間、防犯灯を撤去し、補償はなかった。街路樹が成長し、下水管や駐車場を破壊するなどの状況があったときに、町では、切らしていただくとの対応だった。大事なのは景観の保護で、簡単に切るという結論は早すぎるので、今、保留している。議員は、ぜひ地域を回って、インフラの劣化状況を把握してほしい。事前に点検をして調査をし修復をすることは現在実施していない。こういう状態が続くと町に人が住めなくなる。他所から来たときに、この状況を見ると、こんな所は住めないということになる。住んでみたい町にするとなれば、それなりの整備が必要で、今後も、お金がないからという理由だけ行動に移さない町の状況を止めていただき、先に先にと補修をしていく考え方の町づくりをお願いする。

○（議会） 隅々まで見ていないと反省もある。巡回を増やすようにしながら、町内会とも相談しながら予算の範囲もあるが町と相談しながら、より良い方向へ向かっていきたい。

○（議会） 我々もそういうことは念頭に置いているが、なかなか十分にできていないことは反省する。今後も取り組んでいきたいと思う。

○（町民） 太美に住んで27年になるが、この町には長所と短所が両極端にあるが、短所はみんなで知恵を出して補い、やらなければいけない。この町の特徴、太美町は湯たんぽの上で生活している地域である。全道的に見ても、こういう地域は、十勝川温泉地区とこの地区しかない。この熱を使い、融雪、農業関係など、自然エネルギーを使い、地域振興、生活が楽になるとか、非常に優れた機能を持っている。技術開発やインフラ整備や地域の特性を活かすなど、石破大臣が地域振興と言っていることから、議員がしっかりと勉強して、どこにも負けないものを作っていただきたい。農業でも地熱を使うと、灯油代、電気代が劇的に減少できるので、生産コストが下がり、競争力を強化できる。農家単独ではできないので、オール当別などでやってもらいたい。太美には素晴らしい天然資源があるので、それを活用し、人口が減らない、人口が増える、働く場所ができることになるよう、力添えをいただきたい。

○（議会） 11月19日に臨時会が開催されることになっており、新聞報道にあった、4700万円が国から補助されることになり、委員会はまだ開催されていないが、話にあったような補助金なので、期待していただきたい。

○（町民） 道の駅のことについて、議員から意見を聞きたい。

○（議会） 議員の中でもこのことについては、意見が分かれるところである。私は、率直に言って、採算が採れるのかと思っている。10億のうち5億が補助で、5億が持ち出しということになるが、町の年間の町税、約18億数千万円である。北海道の道の駅では、冬に扱う野菜がないということで、多くの道の駅が苦勞している。細かい点では、札幌大橋から向かって、右折をしなければ、道の駅に入れないことはマイナスなど、色々ある。基本的には自分はまだ納得できていない。町民の中にも納得できない人はいるので、その人たちの声を受け、引き続きやっていきたい。

○（議会） 2年後に完成を目指して進めている。町は、人口が減少する中で、起爆剤として発展していかなければいけないということで、道の駅では検討した中で、国から重点道の駅にも指定され、人を呼び込む大きな材料として、発展をさせていくため、成功させるということではがんばっている。

○（町民） 道の駅を作ることによって、どういう風に人口を増やすための起爆剤になるのか。

○（議会） 人を呼び込むためのインフォメーションセンター機能があり、避難所、農産物の販売などで活性化につなげ、発展につなげる。

○（町民） 買い物に来る方は、住民台帳には載らない。道の駅ができ、周辺に住めば増えるが、生活するだけのものを道の駅では売れない。

○（議会） そういった意見を聞きながらいいものを作っていきたい。道の駅には今言った、色々な機能を持たせたいということである。野菜の販売など、道の駅の中には色々な所からの物を集めて販売しているところもあり、今後検討しながら、進めていくところである。

- （町民） これからの計画において、採算が採れないとわかれば、計画を白紙にするということか。
- （議会） 議会は、道の駅を作っていこうというので、検討している。白紙ということ的前提にしないで、より良い道の駅を作るために知恵を出していかなければいけないと考えている。
- （町民） 建設のために5億を出し、運営に毎年赤字が出たら誰が責任を取るのか。
- （議会） その支出に、ファンドを利用したり、色々な知恵を頂いたり、町の負担を少なくする方法を議論している。
- （町民） 農地の価格が坪当たり、30万から60万くらいである。その値段で道の駅の用地を買収するのか、注目している。答弁は知らない。
- （議会） 道の駅の基本構想ができ、パスができ、どんな形になるのかというのを皆さんに提示できるところまでいった。当別に道の駅が本当に必要なのかという議論が熱を持って語られる状況になった。春に議会報告会を行うので、その時には、どれだけお金がかかり、どういうシステムで運営するのかということがはっきりするので、こういうところで皆さんと話ができればと思っている。成功例と失敗例の道の駅をたくさん見てきている。成功しているところは、たくさんの方が雇用されている。そこで雇用されている人もいれば、そこで物を出すために作る人もいる。もうしばらく、皆さんで良いか悪いか議論をして、積み上げをして、最終的には工事の段階で予算の判断をしなければいけないので、そのときに我々は決断をしなければいけないと思っている。
- （町民） 道の駅の場所は、国道275号と337号に作るのがいいと思うが検討課題に入れてほしい。
- （議会） 町民の方が、本当に大きなお金をかけて成功できるものができるのかを真剣に議論をして、その案を我々もしっかりと聞かせていただき、町民のためにいい施設ができれば最もいい形だと思う。あの場所に作るために色々な工夫をすでにやっており、国交省との用地買収は長年交渉してきている。そういうことをすべてご破算にしてやった方がいいのかということにもなるので、ここにいる5人だけで話ができることではないが、町でも町政懇談会を行うので、そのときに、皆さんの意見をしっかりと届けていただき、聞かせていただきたい。
- （町民） 道の駅は、既存の物を利用するのが良いと思う。ロイズの工場を中核にして、その周辺を色々な施設にすれば、集客は見込める。
- （議会） 見させていただきたい。
- （町民） 各県を回ってきたことがあるが、西当別小学校、西当別中学校は全国の中でも立派な学校である。私達が小学校時代の50年以上前の日本のいい風習の学校だと思うので、道外に広めて、若い方に進めていただきたい。
- （議会） 貴重な意見、ありがとうございます。
- （町民） 教育費の25年度と26年度比較し、約1億円の減となっているが、27年度はどうなっているか。

○（議会） 当別小学校、西当別中学校の耐震の補修工事が終了したため、減となっている。

○（町民） 企業誘致ができていない状況を聞く。当別町は農業が基幹産業と聞いており、農業を育てるということで、麻の製品を開発することで当別の特産物として売り出すことを考えてはどうか。

○（議会） 昔、六軒町に亜麻の精製工場があり、当時の農家の方は亜麻を作って、乾燥して、梳いて、さらして繊維をとったという経緯があり、昔は盛んだった。その前には大麻があり、現在は良い印象は持たれてないかもしれないが、大麻は繊維質が多く、良い繊維が取れる。北見や東川の一部で栽培しており、今度、当別町でセミナーを開催することとなっており、そういった取り組みも今後行っていききたいと思っている。特色ある作物を当別町の特産としてやっていきたいということは我々も思っているところである。

○（町民） 除雪の関係について、16線は雪が多く、太美西、太美北は西風を受ける町内会で、札幌から帰るとき、太美駅方向からでなければ家へ帰ることができない。昔は雪は軽かったが、今は、温暖化の関係なのか雪が非常に重く、16線は西風が吹くと入れない状況。運送会社などに聞くと当別の配送が一番困難だと聞く。2年前の火災のときは、消防車が現場に入れず苦勞したこともあった。1週間、車が出せない、または車庫から出しても通れない状況もあった。今年は除雪車が入ったとのことだが、今まで以上に除雪は進むのか。

○（議会） 除雪の取り組みとして、決算、予算委員会で議論をしたが、1戸2800円の除雪費をパートナーシップで頂いているが、2回の除雪までを実行している。当別町は豪雪対策として、早めに排雪することを心がけており、除雪車も毎年購入し、今年は歩道用を購入している。皆さんの除雪を万全にしていきたいと努力しているが、雪であるため、色々なことが起こる。今後町と議論しながら万全な除雪にしていきたいと思う。

○（町民） 人口は11月には1万7000人を割ったと思う。高齢者の方々が雪でここに住めないということで出ていく。新しく入ってもこんな雪では住めないということで出ていく。人口減を除雪でも食い止めることはできると思うので、協力をお願いしたい。

○（町民） 資料は、当別町の過去5年間の生活道路の排雪実績である。去年は7m80cm、それ以前は約10mだった。平成26年度の排雪回数は2回だった。大まかに当別地区と太美地区に分けると排雪の台数は、太美地区は2回実施しながら、1888台であった。前年は1回だけだったが、1663台だった。ほとんど変わっていない。平成23、24年度は、約2500台だった。去年は同じ2回でありながら、1888台ということで、23、24年度から見ると7割ぐらいに減っている。一方、本町地区は去年は4300台で、25年度は2264台でほぼ倍となっている。本町地区では線路の北と南で2つの業者が入っている。多いのが北で、北を担当している業者が前年の約2倍以上の台数となっている。建設課に、同じ道路でありながら、この数字は異常ではないかと問い

合わせたが、明確な答えはなかった。生活道路の排雪は、雪体協で業者さんのタコメーターを調べて精査するとなっているはずだが、建設課に聞いたところ、実際にはそこまでできておらず、業者からの伝票で確認しているとのことであった。その結果、世帯あたりの金額がどうなっているかというところ、太美地区の1世帯あたり、排雪費用は5090円という数字になっている。年間1世帯あたり2800円払って、町とパートナーでやっているため、折半だが合計5600円になるべきである。にもかかわらず表では、5090円になっているということは、町予算がその分多かったということで、町民がその分負担しているということである。折半になっていない。一方本町地区は、8629円になっている。太美地区の1.7倍である。今の排雪は太美地区に本町地区がおんぶにだっこの常態であると思えない。昨年1年間で、排雪費合計1000万円近く前年を上回っている。ほとんどが本町地区で、増やしている。それぞれの堆積場ごとにダンプの単価があり、平成22～24年度までの3か年は1台あたり、4500円だった。本町地区、太美地区は一緒だった。平成25年度から太美地区のダンプ単価が4063円に下げられている。業者からも厳しいとの声が上がっている。4063円に対し本町地区は、5901円である。2000円近く違っている。運ぶ距離が少し長いだけだが、本町地区の堆積場は上当受骗に全部運んだとしても、太美地区に比べて片道3キロぐらいしか変わらない。それでありながら一方は5900円、一方は4000円に単価が変わり、26年度はさらに細かく変わり、上当受骗堆積場は6100円になり本町地区は下川ができ3900円、結果的に本町地区は、5600円ということで前年より下がっているが、西当別から見たらかなりの差がある。単価設定について建設課に確認したところ、色々道路の試算の仕方があり、その計算によるとこういうことになるということだった。わたしとしては片道3キロの理由としては、説明はつかないと思う。この点について、議会でもチェックしていただきたい。

○（議会） このことについては、今後、次の議会の委員会等で勉強させていただきながら、今のこともしっかりとチェックをして回答できればと思う。

○（町民） この数字を見ると、ブラックホールがたくさんあるのではないかと思う。4000円と6000円の違いがあるわけがない。これは議員がしっかりと調べて、町民が納得するように精査してもらいたい。次の議会報告会あたりで我々に納得できるような報告をしていただきたい。

○（議会） 数字を見ると差があると感ずるので、今後、委員会を通じ、太美地区の状況も確認しながら、進めていきたいと思う。

○（町民） 議員は調査権を持っている団体なので、きちっと精査して、提案をするなり、町民に広く知らせていただきたい。このような状況を議員はどう思っているのか。

○（議会） 下川の堆積場は、雪を積み上げる高さが堤防と同じ高さまでしか置けないことになり、急遽上当受骗へ雪を捨てることとなった。そこから距離数が伸び、運ぶ時間がかかりこういった単価が考えられるのかもしれない。昨年度は、樺戸に堆積場を開設し、一般の方に雪を捨ててもらっていたが、落差があるとは思ってもいなかっ

たため、勉強不足の部分もあるが、委員会を通して突き詰めていきたいと思う。

○（町民） 本町地区が異常に雪が多かったかもしれないので、建設課に幹線道路の昨年の排雪量、堆積量をいただいた。去年は、当別地区、太美地区とも5%ほど増えており、特別どちらかが増えたということはなかった。

○（議会） 数字も含めてご指摘のあった点について、どうかたちで、この数字になったのか、我々も納得いくよう調べていきたいと思う。先ほど調査権については、町議会議員に調査権はない。特権が認められていないが、我々が納得できないことは、質問することも調べることもできるので、自分たちがどうやって納得したかという報告はさせていただきたいと思う。

○（議会） 先ほどの道の駅について、女性の視点から、声が上がっているのは、太美地区は買い物する場所がない。憩いの場もない。食べる場所もない。女性ならではの声はたくさんいただいているが、道の駅を進めていくなかで、本当に疑問に持つこともあるが、当別町をしっかりとアピールして皆さんが集ってくれるような、また道の駅全部で、生活用品が賄えることがないと思うが、この地区でしっかりとお金を落としたり、札幌、地方からどんどん当別に来て、当別の物を買っていただき、潤うよう、私達もアピールしていきたいと思っている。いつ行ってもたくさんの人で賑うよう、当別もそうなるように思っている。

○（町民） 道の駅で生活用品がすべて買えるようにしてほしい。

○（議会） 意見として何う。

◎閉会

○（岡野議運委員長） 頂いた意見や課題は、この後整理し、皆さんに答える部分、また我々のできる部分を整理しながら、皆さんの思いに近づけていけるよう努力していく。